

【解説文】

県では、県産品の販路拡大に加え、その背景にある食文化やものづくりなど、本県の魅力を都市部に向けて発信するため、東京、大阪、福岡の3都市で「岐阜銘品MARKET」を開催します。

その第1弾として、9月25日から10月1日まで、富山県と連携し、東京・日本橋の富山県アンテナショップ「日本橋とやま館」で県産品の販売や富山県との連携企画を実施します。

今回の富山県との連携は、昨年度の「岐阜県・富山県知事懇談会」において、両県のアンテナショップを活用した相互PRについて合意したことに基づき実施するもので、栗きんとんや朴葉味噌、美濃焼、関の刃物製品など約80品目の県産品の販売に加え、両県の地酒飲み比べやおすすめの県産品組合せ販売、両県にまつわるクイズといったコラボ企画を実施します。

例えば、県産品の組合せ販売では、両県がコラボしたからこそできる高山ラーメンと富山ブラックラーメンの食べ比べや、美濃焼の酒器と富山の地酒の組合せなどがセットで購入いただけるようになっています。

また、岐阜県PRコーナーを設け、「ぎふモーニングプロジェクト」などの県の実践や、今話題の「VIVANT」、アウトドアを始めとした観光情報を紹介するなど、両県の魅力を紹介する展示や情報発信も行います。

岐阜県と富山県は、これまでも観光、防災、産業など様々な分野で連携と交流を重ねてきました。また、本年7月には富山空港の新たな愛称に「高山」が取り入れられたこともあり、両県の結びつきが改めて注目されているところです。

今回、こうしたご縁を生かした連携企画を行うことで、首都圏の方にも一度に両県の魅力を楽しんでいただければと考えています。

また、来年1月には、大阪市にある北陸三県のアンテナショップ「HOKURIKU+（ほくりくプラス）」でも「岐阜銘品MARKET」の開催を予定しており、こちらも多くの皆さまのご来場をお待ちしています。